

湘南藤沢徳洲会病院 広報誌 まりん

# MARINE

All Living Beings Are Created Equal



2025.10

## 特集 リウマチ・膠原病・アレルギー科



〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1  
TEL:0466-35-1177(代表)



広報誌MARINE Vol.125 2025年10月号

発行 広報課

[今月号の表紙]

リウマチ・膠原病・アレルギー科



# 患者様の状態に合わせた 適切な治療を提供

関節リウマチ、  
全身性エリテマトーデスなど

こうげんびょう

## リウマチ・膠原病・ アレルギー科

高齢化社会になり、患者様は複数の病気を合併していることが多くなりました。当科では様々な合併症を有する患者様の状態に合わせた、適切な治療を提供しています。

たとえば、**関節リウマチ**では間質性肺炎などの呼吸器疾患、慢性腎臓病などの合併症が問題となります。当科、中下 珠緒 部長は関節リウマチに伴う合併症に関する論文を発表し、それらの論文が日本呼吸器学会・日本リウマチ学会合同膠原病に伴う間質性肺疾患診断・治療指針 2025 作成委員会「膠原病に伴う間質性肺疾患診断・治療指針 2025」、日本リウマチ学会発行「関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂」、日本リウマチ学会発行「関節リウマチ診療ガイドライン 2020」、2019 年に英国リウマチ学会 (British Society for Rheumatology) から公表された「The British Society for Rheumatology biologic DMARD safety guidelines in inflammatory arthritis」(関節リウマチなどの) 炎症性関節炎に対するバイオ製剤の適正使用ガイドラインと複数の最新のガイドラインに引用されました (詳細は当科 HP をご参照ください)。

**全身性エリテマトーデス**は、発熱、関節痛、倦怠感など非特異的な症状で発症する場合がありますが、多彩な臓器障害を起こす非常に難しい疾患です。個体差が大きい疾患の一



つで、個々の患者様の病態に合わせた治療を行っています。当科では早期にステロイド薬を減量、中止を目指すため、免疫抑制剤の併用は勿論、バイオ製剤も多くの使用実績があり、ステロイド薬の有害事象を減少させるよう、努めています。



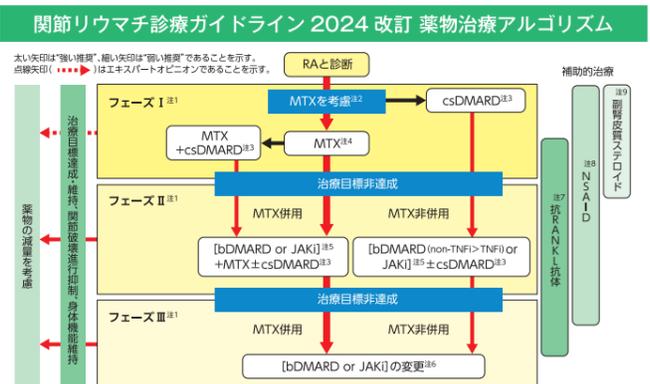
関節リウマチ  
診療ガイドライン 2024 改訂



膠原病に伴う間質性肺疾患  
診断・治療指針 2025



当院リウマチ科  
HP



【関節リウマチ診療ガイドライン2024改訂】より引用

### 関節リウマチについて

関節リウマチは、関節破壊が高度に生じた結果、以前は寝たきりや車椅子など日常生活に支障をきたす患者様が多くいらっしゃいましたが、バイオ製剤や JAK 阻害薬などの登場により、早期に診断し、適切な治療を開始すれば、寛解 (かんかい) という、病気の進行を抑制できる状態に達成することが可能となりました。

関節リウマチは早期診断が非常に重要であり、当科では関節エコー検査、関節 MRI 検査なども併用し、早期診断に努めています。



エコー検査で検出できない骨髄浮腫は、MRI 検査で検出できます。これにより早期診断が可能となります。

### 関節リウマチとは

免疫は、元来細菌やウイルスを認識して排除する働きをもちますが、機能に異常を起し、自分の体に対して攻撃を仕掛けてしまうことがあります。これを自己免疫疾患と呼び、その代表的なものの一つが関節リウマチ (RA) です。RA は主に手足の指などの小さな関節に生じます。

免疫の異常によって、関節の中にある滑膜という組織が増殖して慢性炎症の状態が生じ、やがて軟骨や骨を破壊していく病気です。人口の約 0.5 ~ 1%にあたる人がこの病気にかかるといわれています。どの年代の人にも起こりますが、近年、60 歳以上の発症が増加し、高齢発症の関節リウマチが注目されています。通常、女性に多い疾患ですが、高齢発症では男女差が小さくなっています。

約 20 年前から治療ガイドラインや推奨が作成されたこともあり、治療が大きく変化した結果、薬物治療がうまくいくようになり、寛解と低疾患活動性 (寛解に近い状態) が増加しました。関節の痛み・腫れが続く場合は、早めにリウマチ専門医の診察を受けることをお勧めします。

## 当院で対象となる疾患

- ・関節リウマチ
- ・全身性エリテマトーデス
- ・強皮症
- ・多発性筋炎・皮膚筋炎
- ・シェーグレン症候群
- ・混合性結合組織病
- ・ペーチェット病
- ・血管炎（大動脈炎症候群、顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫症、側頭動脈炎、結節性多発動脈炎など）
- ・抗リン脂質抗体症候群
- ・成人 Still 病

- ・自己炎症性疾患（家族性地中海熱など）
- ・遺伝性血管性浮腫（HAE）
- ・IgG4 関連疾患
- ・リウマチ性多発筋痛症
- ・RS3PE 症候群
- ・再発性多発軟骨炎
- ・乾癬性関節炎（関節症性乾癬）
- ・掌蹠膿疱症性骨関節炎
- ・膠原病に伴う間質性肺炎
- ・脊椎関節炎
- ・アレルギー性鼻炎や食物アレルギーなどアレルギー疾患（免疫療法含む）

### 関節リウマチ



#### 主な症状

関節の痛み・腫れ  
特に手首や指の関節が左右対称に腫れることが多い  
朝のこわばり  
朝起きた時に手や関節が動かしにくく、30分以上続くことがある  
関節の熱感・赤み  
炎症により関節が熱をもったり赤くなったりする  
全身症状  
倦怠感（だるさ）、発熱、体重減少などが見られることもある

### 全身性エリテマトーデス



#### 主な症状

皮膚症状  
頬から鼻にかけて蝶のような形に赤い発疹（蝶形紅斑）  
光線過敏（紫外線に当たると皮膚が赤くなったり発疹が出やすい）  
脱毛  
関節症状  
多関節炎（特に手指や手首などが腫れて痛む）、関節のこわばり  
全身症状  
発熱、倦怠感、体重減少など

## 希少疾患を、診る

### 家族性地中海熱、 遺伝性血管性浮腫（HAE）など

当科は、診断・治療の難しい希少疾患に豊富な診療実績と専門知識を有しています。たとえば、家族性地中海熱（遺伝性の自己炎症性疾患）は「原因不明の熱」として見逃されやすく、遺伝性血管性浮腫は救急外来受診を繰り返し、診断されるまで何年もかかる場合が珍しくありません。このような疾患に正確な診断と適切な治療を行い、患者さんの生活の質（QOL）向上に努めてまいりました。

近年は高度の医療を提供する特定機能病院や地域の医療機関からの紹介患者様も増加しており、希少疾患や専門性の高い診療を求める患者さんの受け皿としての役割を強めています。確定診断には遺伝子検査が欠かせないですが、当院は日本免疫不全・自己炎症学会（JSIAD）の連携施設であり、大学病院以外では実施が難しい遺伝子検査にも、臨床遺伝専門医である橋口和生・産科・婦人科部長と連携して対応しております。

診断確定までに長い時間を要するケースが多いため、患者さんの状況に応じたメンタルケアや生活指導にも注力しています。また、妊娠や出産に関する課題を抱える患者さんには、必要に応じ産科・婦人科とも密に連携する体制を整えております。

### HAE-info 遺伝性血管性浮腫（HAE）情報サイト

HAEの診療について、相談できるお近くの病院検索ができます（当院も掲載されております）



## profile

### リウマチ・膠原病・アレルギー科

なかした たまお  
部長 中下 珠緒

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医  
日本リウマチ学会専門医・指導医  
日本リウマチ財団登録医  
日本感染症学会専門医・指導医  
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医  
日本アレルギー学会アレルギー専門医（内科）・指導医（内科）  
日本結核・非結核性抗酸菌症学会指導医  
日本医師会認定産業医  
日本内科学会教育病院指導医  
日本老年医学会認定老年科専門医・指導医  
ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター（ICD）  
厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会」修了  
「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」修了  
神奈川県難病指定医  
神奈川県小児慢性特定疾病指定医  
身体障害者福祉法第15条指定医（肢体不自由）

#### 【主な経歴】

亀田総合病院初期研修医、  
同病院リウマチ・膠原病・アレルギー内科医長および部長代理を経て、  
2020年8月より 湘南藤沢徳洲会病院 リウマチ・膠原病・アレルギー科部長

### “Message”

これまで難病として恐れられていた膠原病も、不治と考えられていた関節リウマチも、新しい治療薬が次々と開発され、治療成績が飛躍的に向上しています。患者様の病状を改善し、出来る限り通常の日常生活やライフイベントを送っていただくことを目標に、それぞれの患者様に応じた適切な治療選択肢を提供させていただきます。お困りのことがございましたら外来でお気軽にご相談ください。

### 外来チームスタッフ



### 研修医の教育も行っています (2025年7月研究会発表)



ながふち ひろこ  
永瀨 裕子（非常勤医）

聖マリアンナ医科大学病院  
リウマチ・膠原病・アレルギー内科診療副部長  
特任准教授

専門分野  
関節リウマチ、膠原病全般、血管炎、  
ペーチェット病

当院では聖マリアンナ医科大学より永瀨医師に非常勤医師としてお越しいただき、外来診療を担当いただいております。

湘南藤沢徳洲会病院は2025年4月から聖マリアンナ医科大学の連携施設となり、内科専攻医を受け入れていく計画で、学会発表などアカデミックな活動も引き続き行います。

予約専用ダイヤル  
(診療予約)  
**050-1807-1513**

月曜～金曜 9:00～16:00  
土曜 9:00～14:00（日曜・祝日を除く）

### 外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	—	中下	中下	—	中下 永瀨	—
午後	—	中下	中下	—	中下 永瀨	—

2025.10.19 日 10:00-11:30  
受付 9:30-

入場無料 申込不要

会場:ステーションコンファレンス川崎  
「JR川崎駅(西口)」より徒歩3分

アクセス詳細はこちら

えばら そうへい  
**江原 宗平 院長の公開医療講座を  
川崎で開催**



せきちゅうそくわんしょう  
**脊柱側彎症の手術治療**

講演内容

脊柱側彎症の治療について、当院のコンピュータナビゲーションシステムとロボット脊椎手術についてお話しします。講演後、質疑応答あり。ご本人はもちろん、ご家族やお知り合いで背中が曲がり気になる方、医療関係者の方など、どなたでもお気軽にお越しください。

脊柱側彎症とは

脊椎(背骨を構成する骨)がねじれて左右に曲がっている病気です。若い方からご年配の方まで、女性に多く発症しやすいと言われています。



江原 宗平 院長  
脊椎センター・脊柱側彎症センター長

お問い合わせ 広報課 TEL 080-1098-3970 9:00~17:00(土日・祝日を除く)  
✉ kouhou@ctmc.jp

**かかりつけ医** のご紹介

「かかりつけ医」とは ご自身やご家族の日常的な診療や健康管理などを気軽に相談できる身近なお医者さんです。

当院では患者さんの状況に応じて適切な医療を提供するため、地域の医療機関と連携し、病状が安定した患者さんや継続的な治療・経過観察が必要な患者さんには地域の「かかりつけ医」へのご紹介をしています。

「かかりつけ医」を持つメリット

- 01 自宅近くでの受診
- 02 少ない待ち時間
- 03 日ごろの健康管理
- 04 継続的な医療提供
- 05 必要に応じて専門医療機関へ紹介

「かかりつけ医」検索システム

当院と医療連携している「かかりつけ医」を簡単に探すことができます！まずは身近な医療機関をお探してください。

登録医337件(2025年8月末時点)

お問い合わせ 患者総合支援センター 窓口 8:30~16:30(月~金曜)

ここから検索



季節のレシピ

**かぼちゃとツナの塩こんぶバター**

材料(2人分)

- かぼちゃ……200g
- ツナ缶(70gノンオイル or 油を切る)……1缶
- 塩こんぶ……5~6g(ひとつまみ強)
- バター……8g(小さじ2弱)
- 黒こしょう……少々(お好みで)

作り方

- かぼちゃは2cm角に切り、耐熱容器へ。
- ツナ缶(油を軽く切って)・塩こんぶ・バターをのせる。
- ふんわりラップをして、600Wで5~6分加熱。
- 混ぜて味をなじませ、黒こしょうで仕上げる。



一言コメント

かぼちゃには、免疫力を助けるβ-カロテンや、便通を整える食物繊維が豊富に含まれています。ツナは手軽なたんぱく源。バターと塩こんぶの風味で、少量でも満足感があり、減塩中の方にも嬉しい一品です。レンジ調理で栄養を逃さず、体にやさしくおいしい秋の定番にぴったりです。

**藤沢市内の中学校で一次救命処置講習を行いました**

8月の夏休み期間、藤沢市内の7つの中学校から依頼を受け、学校に出張して一次救命処置(BLS)の講習を行いました。講師は当院の医師、救急センター看護師や救命士です。受講者は各学校の先生方で、いざという時に児童の命や安全を守るため、積極的に実技を行う姿が印象的でした。講習は人形やAEDのデモ機を使用して行います。



POINT

BLS = Basic Life Support(一次救命処置)は、意識・呼吸の確認、胸骨圧迫、AEDの使用など、心肺蘇生の手順を正確に行います。まずは定期的な講習を受けて実際に触れて、一緒にやってみましょう！

[救急センター看護師長]